

菱みず

社報 2023.8.1

Summer Vol.88

# HISHIMIZU



## Contents

- 2 | ごあいさつ  
技術統括部 技術部長 山本 哲史
- 3-4 | **100周年記念特集**
- 5-6 | 私たちのお得意さま  
「MED Communications西日本株式会社」  
広島支店 支店長 松田 陽介 様
- 7-8 | 技術通信  
**フロアピアニ**
- 9-12 | TOPICS  
**2023年度 プレミアム会員様 ご紹介**  
**2023年度 第1回・第2回新製品発表会を行いました**  
**展示会報告**  
**ラベルデザイン変更のご案内**
- 13-14 | 塗装実績

### 表紙説明

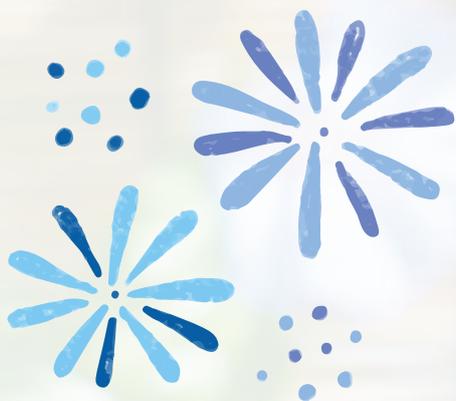
#### ヴァヴェル城（クラクフ市）

(Zamek Królewski na Wawelu)

ポーランド王宮殿。ポーランド王のカジミェシュ3世の命により、970年に建てられた。何世紀にもわたり王の住居であり、ポーランドの国家の象徴であったヴァヴェル城は、現在では美術館として開放されており、国内有数の美術館となっている。

(Wikipediaより)

# ごあいさつ



水谷ペイント株式会社  
技術統括部 技術部長

山本 哲史



暑中お見舞い申し上げます。

平素は弊社製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の取り扱いが2類相当から季節性インフルエンザウイルスと同等の5類に移行され、3年以上もの長きにわたったコロナ禍をようやく乗り越えることができました。自粛されていた旅行やイベント開催など、これから明るい社会に向かうことでしょう。

弊社におきましては、お陰様で3月1日に新製品・新シリーズの「ナノテクシリーズ」を発売し、たいへん好評を得ています。このシリーズは全て水系塗料です。屋根用は「ナノルーフ」、外壁用は「ナノウォール」の製品名で、後ろに「10」「15」「20」の数字を記載しています。この数字は塗膜の耐久年数を示し、わかりやすい・選びやすいを一番のコンセプトにした製品になっています。また、屋根用の「ナノルーフ20」「ナノルーフ15」のグレードには、JIS K 5675に準拠した「遮熱+(プラス)」をラインナップしております。「ナノテクシリーズ」の特徴としまして

- ①独自の樹脂合成技術により生み出した『ナノテクノロジー』『シリコン成分導入技術』
- ②水系塗料のバイオニアとして培った技術開発による『レオロジー制御技術』

が全てのラインナップで備わっています。

1980年、建築用水系塗料として「水系ポリマ」を発売して以来、確かな信頼、実績を積み重ねています。技術部では、永きに渡る水系塗料の実験データ、ノウハウを継承しつつ、時代にマッチする改良を加え

ながらお客様に満足していただける商品を日々、研究開発しています。その一例といたしまして、金属屋根材のシェアが近年高くなりましたが、金属素材の改修は溶剤系塗料が主に採用されています。しかし、これからの脱炭素社会に向け、溶剤をしないオール水系塗料で改修できる仕様が必要であることに着目し、水系下塗り塗料「水系ハイエポンⅡ」を新たに開発致しました。これにより様々な素材に対してオール水系塗料で改修塗装が可能となりましたので上塗り材としまして「ナノテクシリーズ」のご活用どうぞよろしく願いいたします。

塗料業界の流れといたしまして脱溶剤化、水系塗料へのシフト化が着実に進んでいます。弊社におきましてもここ数年の新製品の大半が水系塗料になっています。2050年までに脱炭素社会を実現し、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンオフセット」を目指す政府の方針に則り、有機成分を天然由来成分へ置き換えることや、水系化をさらに進めております。また、環境対応だけでなく、みなさまのニーズにもお応えできる製品の開発に努めておりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 当社の歴史を振り返る

～100年のあゆみ～

当社は、おかげさまで2022年3月に創業100周年をむかえました。今回と次号の2回に渡り、当社の歴史を振り返りたいと思います。

水谷ペイントが創業した1922年は、第一次世界大戦が終わった3年後。第一次世界大戦中の日本は、戦争の特需景気で輸出貿易が飛躍的に拡大し、製造業や海運業が発展するなど、産業の工業化が一気に進みました。

しかし、戦争が終わりヨーロッパ列強が生産市場に完全復帰すると、日本の輸出は一転不振となって過剰生産に陥りました。株価は半分から3分の1に大暴落し、戦後恐慌と呼ばれました。そのため、1922年に創業した会社は、前の年の3分の1程度しかありませんでした。

そんな激動の時代に当社は創業しました。当時の社名は水谷ワニス工場。創業の地は、現在のJR難波駅近くでした。

当時の主力製品は帆布などに塗装する防水油で、創業者の水谷小太郎が防水布メーカーに勤めていた時から研究・開発した製品です。



創業者・水谷 小太郎

事業は好調で、すぐに工場は手狭になりました。創業から間もなく、1927年には広い土地に本社を移転し、さらに1931年には第2工場も設置しました。1930年頃には、アメリカから輸入された金属製ラジオの塗装を真似たチリメンエナメルを国産化することに成功し、ラジオや事務機などの金属製品への焼き付け塗装に使われ大ヒットしました。

好調な業績を受けて、1931年には東京と名古屋に営業所を開設しました。当時の東京は1923年の関東大震災からの復興の最中で、名古屋は工業都市へと急速に発展しているところでした。

そんな順風満帆だった最中、当社を不幸が襲います。1933年2月14日、亜麻仁油を煮てボイル油を製造していた工場で、昼食をとるため従業員が持ち場を離れた隙に油に引火し、工場火災が発生しました。火はまたたく間に燃え広がり、本社工場は全焼。製品、設備類はすべて灰燼に帰しました。

順調な歩みを重ねていた時期だったので、この火災にはさすがの水谷小太郎も落胆を隠せませんでした。しかし、気を取りなおし本社工場の焼失

から2か月後、西成区津守町に新工場が完成しました。同じ町内にあった第2工場と統合して業務を再開し、好調な塗料需要のおかげで以前と変わらない生産ペースを取り戻すことができました。

この頃、当社は船底塗料やラッカー塗料の販売を開始し、アジア各国に盛んに輸出していました。さらに、



津守に完成した工場

国産自転車の増産に合わせて当社の焼き付けエナメル塗料が大量に納入されました。

1934年、当社は自社特許により電気絶縁塗料「絶縁用ワニス」を開発し、これを含浸させた絶縁用綿布や紙テープの販売も開始します。電気絶縁塗料は、現在の電子基盤に使用する導線の被膜や絶縁に使われるもので、当社は西日本の市場をほぼ独占していました。本社工場だけでは供給が追いつかなくなったため、現在のJR茨木駅から1kmほどの場所に茨木工場を新設しました。

1939年、第二次世界大戦が始まります。戦局が切迫するにつれ国内の戦時体制が強化され、ついには「生産効率を上げるため企業合同せよ」と国から要請されました。



アジア各国向け輸出用ラベル

そのとき当社に某大手電機関連の系列会社が合併を持ち掛けてきました。

合併は苦渋の決断でしたが、これを容認した水谷小太郎は常務に就任し、当社の茨木工場は合併先の事業場となりました。

その傍らで、水谷小太郎は当社の命脈を保つため、旧本社工場内に塗料販売会社である菱水塗料株式会社を立ち上げました。菱水塗料は東京・名古屋の旧営業所を傘下に入れ、塗料販売に専念しました。

1943年に水谷小太郎は合併先を退職し、旧本社工場を売却しました。それを元手にして現在の本社の場所にあった染晒工場を買収し、東亜理化学工業株式会社の看板を掲げました。海軍工廠の下請け工場として塗料の原材料の加工をおこない、かろうじて事業を維持しながら1945年に終戦を迎えました。

終戦後、戦災や占領行政下で日本の産業界は機能不全に陥っており、復興への道を歩み始めたのは1946年からでした。ところが物資不足だった当時、塗料の原材料は生産能力に応じた配給制だったため、すぐには塗料製造業を再開することができませんでした。

水谷小太郎は、中小規模の事業者が塗料製造に戻るには、政府公認の団体を結成するしかないと考えました。そこで商工省の助言を受けて大阪府庁へ陳情を始めました。組合設立に手応えを感じ、戦禍で廃業させられた多くの同業者の賛同を得て、1947年に近畿塗料工業協同組合を創設しました。初代組合理事長には、水谷小太郎が就任しました。後に、同組合は大阪府の行政がやりやすい名称に改めるよう要請され、現在の大阪塗料工業協同組合となりました。

1947年9月、通産省からの通達を受けて、当社は念願の塗料製造業を再開しました。1948年には東京出張所、名古屋出張所を開設。そして1949年1月、当社は社名を現在の水谷ペイント株式会社と改めました。

1953年に当社は合成樹脂塗料「ポリマ#6000」の販売を開始しました。

日本で合成樹脂塗料の開発が本格化したのは1950年代からのことです。「ポリマ#6000」は、ビニルモノマーの自家重合による合成樹脂を開発したという点で国内初の快挙であり、日本初の合成樹脂塗料でした。また、セメント瓦に塗装できる初めての塗料であり、市場に非常に高く評価されました。

当時セメント瓦の製造会社の70%近くが九州に集中しており、「ポリマ#6000」の営業活動のため発売の翌年に福岡支店を開設。同年中に地元の有力販売店を中心とした九州菱水会を結成しました。

「ポリマ#6000」は、屋外のセメント系製品に塗装でき

る画期的な塗料でした。「これを屋内のセメント床面に応用してはどうか。」当時東京支店長だった今井清氏のこの発案が、1955年に「ボウジンテックス」を生みました。時代は電子産業の発展期。ICなどの精密機器工場にとって塵埃や湿気は大敵でしたが、当時の工場の床はコンクリートがむき出しで、粉塵もほぼ放置されていました。防塵効果をPRしたボウジンテックスは、破竹の勢いで大手家電メーカーの工場に広まり、現在に至るまでニーズの絶えない売れ筋製品となりました。

さて、塗料の生産量は1950年に始まった朝鮮戦争による特需景気で年々増えていきました。当社は塗料需要の拡大を受けて設備の拡充に取り組み、工場の建設ラッシュが始まります。

1957年には、ラッカー工場を新設し、製品開発のための研究室、品質管理課、検査課などが整備され、より先進的な製品の開発を行う体制が整えられました。1959年には、酢ビアクリル樹脂の反応工場を新設しました。

続いて1961年にはメラミン樹脂工場を新設し、3年後の1964年には、酢ビエマルジョン樹脂の反応工場を新設しました。さらに1966年、新ワニス工場の名称でアルキッド・ポリエステル縮合反応装置が完成しました。

この時点で当社には4つ反応工場が稼働しており、中小規模の塗料メーカーには珍しい充実ぶりでした。

1969年3月には、福岡支店を現在の糟屋郡粕屋町に移転し、工場も新設しました。

1974年には、それまで平屋の検査棟だったところに鉄筋3階建ての技術棟を建設しました。さらに翌年、技術棟の隣に粉体塗料工場を新設しました。

加速度的な進化を遂げた生産環境は、より良い製品をよりきめ細かく、より大量に生産することを可能にしました。1966年に発売した外装材トップコート「ポリマゴールド」は大量に出荷され、1975年頃には当社売上の約3割を占めるまでに成長しました。

次号Vol.89につづく



1953年 合成樹脂塗料「ポリマ#6000」発売

# 『MED Communications 西日本株式会社 広島支店』

広島県広島市

リフォーム・エネルギー事業担当 支店長  
松田 陽介 様



## Q. 創業について教えてください。

元々は個人経営のリフォーム関連業者だったのですが、今年の3月にMED Communications株式会社(以下MED)に事業譲渡し、その広島支店としてスタートしました。前の会社のモデルケースがMEDだったこともあり、考え方なども似ているため提携を決めました。MEDは元々掃除関連の訪問販売業で、そこからオール電化、メンテナンス業とシフトしていき、現在は塗装業も含め住宅に関するあらゆる事業を取り扱っています。

## Q. 支店長になられて苦労されたことは何でしょうか。

まさに今絶賛苦勞中です(笑)。ついこの間会社形態ががらっと変わったところなので、元々の従業員たちの戸惑いもありますし、ルールなども変えていけないといけないので、変化に対応する力と支店長としての舵取りが大変ですね。

営業会社なので社員との面談を定期的に行い、モチベーションをどう高めていくかを気付かせてあげるのが自分の仕事だと思って取り組んでいます。



広島支店エントランス

## Q. 最近のビッグニュースなどあれば教えてください。

やはり一番は事業譲渡したことでしょうか。従業員にとってはいきなりだったので、順応していくのはかなり大変だったと思います。

それと、もう少ししたら移転することが決まっています。本社から社長直々に見に来てくれたりと期待を込めてお金をかけてくれているので、正直嬉しいなと思っています。実は、水谷さんの広島支店のすぐ近くに移転することになっていて、何かのご縁かも思っていたりします。

## Q. 現在力を入れて取り組んでいることがあれば教えてください。

塗装関連ですね。蓄電池なども取り扱っていますが、現在は塗装業が7割ほどを占めていて、中国地方で唯一プレミアム会員に選んでいただいたこともあり、塗装といえば広島MEDと言われるように目指していきたいです。

一度施工いただいたお客様に対し1年に1回点検で訪問しているのですが、何十年後も自信をもって点検できるような、さらなるリピートを狙っていきたいと思っています。

## Q. 営業の際、工夫されていることなどあれば教えてください。

付加価値を大切にしています。価格はものによって様々なので、お客様に当社の営業マンやその話で価値を感じてもらえるような提案をしていきたいと思っています。そのためには、製品をしっかり理解してちゃんと顧客に伝えられるように営業マンを育てていかなければなりません。やはり製品愛というか、堅実な製品知識がないとお客様の

心に響くような提案はできないと思うんです。

そういった提案をするためにはやはりプレゼン力も大切ですね。営業はエンターテインメントだと思っていて、お客様をわくわくさせて、聞いて楽しかったと思ってもらえるように心がけています。プレゼンは一定水準以上できるように従業員教育を行っていますが、当社は元々プレゼン力が長けていて個性が強い社員が多いのが特長です(笑)。例えば、アパレルのGAPで接客の日本一になった人や、商品知識はそこまでないもののお客様がつい買ってしまうようなカリスマ的な営業センスを持っている従業員などが在籍しています。

私の場合、カタログを前から順番に説明するだけのシンプルな営業スタイルなので、カタログの順番や内容は結構重要だったりします。

当社では主にナノコンポジットシリーズをお勧めすることが多いのですが、マットな質感がお客様の受けが良くて、職人にも水谷さんだったら間違いないと言われるので、自信を持ってお客様におすすめすることができています。

## Q. 水谷ペイントへのご要望などあればお聞かせください。

来年に新卒生が何名か入社してくるのですが、折角水谷さんの広島支店と近い距離に引っ越すので、勉強会をお願いしたいと思っています。ナノテ

クシリーズやナノコンポジットシリーズの再確認も兼ねて、新人教育も積極的に行っていく予定です。

あとは、先日ナノコンポジットFで塗替え施工した物件で、外壁を多彩仕上げにしたところお施主様に新築のようだと非常に喜んでいただけて、この仕上がりをみて次の工事も決まったぐらいなので、そういった塗装仕様やその仕様向けのローラーなどを提案してもらえたらいいと思います。

他には、先もお話ししましたように、私の商談スタイルからカタログの内容は重要で、ナノコンポジットWのラジカル制御がどれくらいのレベルのものなのかを記載してもらえたら説明もしやすくなるので嬉しいです。

## Q. 支店長のご趣味は何でしょうか。

犬と戯れることでしょうか。フレンチブルドッグを1匹飼っているのですが、もう1匹欲しいなと思っていて、犬種は問わないので誰か譲ってくれる人がいないかなと機会を探しているところです。

ただ、結局一番の趣味は仕事なのかもしれないと思っていて、月に一度会議のために東京の本社へ行くのですが、毎回早く広島の支店に帰りたくてしょうがなくなるんです(笑)。環境貢献も趣味の一つなので、地元にしっかりと貢献していけたらと思っています。



施主様に新築のようになったと喜んでいただいた多彩仕上げの物件。ナノコンポジットFで施工。



技術部 床グループ 課長代理  
米澤 公一(左)

新人研修で攪拌方法を教える米澤課長代理。  
一斗缶の中に水と硬化剤を入れて振るだけで誰でも混合可能な設計になっている。

## 2022年9月に床用の 水系2液型ウレタン樹脂塗料フロアピアノを発売しました。

### Q. 開発経緯を教えてください。

当社は、水系2液型ウレタン樹脂塗料として、「水系ボウジンテックスU」（現在は廃止製品、以下水系U）を販売しておりました。ところが、2021年の5月頃に、水系Uに採用しているウレタン樹脂メーカーが、樹脂製造事業から撤退するという通達があり、水系Uの製造ができなくなる事態に陥りました。

一般的に、採用していた樹脂が廃止になる場合、購入していた樹脂メーカーに代替品を用意してもらうのが通例なのですが、事業を撤退するとなると代替りのものを手に入れることができません。そのため、向こう1年分ほどの樹脂在庫は確保することができましたが、この1年のうちに水系Uに替わる製品を開発しなければならず、後継品である「フロアピアノ」の開発が始まりました。

### Q. どのように開発を進めたのでしょうか。

そこまで特長的な製品ではないため、最初は自社樹脂の採用は考えておらず、別の大手メーカーの樹脂を使用して開発を試みました。このような場合、本来ならば主剤と硬化剤の樹脂は、相性が保証されているため同じメーカーのものを使用します。ところが、当時硬化剤の樹脂に使用するイソシアネートが世界的に供給不足で、試験サンプル用でさえも入手困難な状況でした。そのため、「この樹脂で開発を進めたところで1年後でさえ満足な量の樹脂を提供してもらえないだろうな」と感じ、安定供給できるように別々のメーカーの樹脂を模索することにしました。

## Q. 打開策はなんだったのでしょうか。

開発期限が決まっていた少し焦っていたそのとき、水谷専務から屋根用塗料「ルーフピアニ」に使用している「システムM」を使ってみてはどうか、というアドバイスをいただきました。

少し話がずれるのですが、水系Uの改良要望として、営業担当者から他社にあるような攪拌機を使わなくても混合できるウレタン樹脂製品がほしいとの意見を貰っており、検討している経緯がありました。

「システムM」の硬化剤の特長は、親和性が高く攪拌が容易であることです。

水系Uが廃止に進む今、この意見をフロアピアニに取り入れたら良いかもしれないと思い、早速開発に取り掛かりました。

結果、水系Uよりも攪拌性がよくなり、塗膜性能を保持したまま攪拌機なしでも使用できるよう改良に成功しました。攪拌機が不要になったことで、攪拌機を持っていないお客様にも幅広く使用していただけるようになりました。

水系Uからパワーアップしたもう一つの性能が可使用時間です。システムMにより24時間と大幅に伸ばすことができました。ここまで長い可使用時間を持つ製品は他になく、唯一無二と言っても過言ではないと思います。

## Q. 開発で最も苦労したことは何でしょうか。

初めの樹脂選びから苦労はしているのですが、塗膜の硬度がなかなか出なかったことでしょうか。海外展開でシステムMの配合がありそれで進めてみたところ、乾燥は早いのですが反応が遅く、樹脂の使用量を変えたり、主剤の樹脂の硬さを変えたものを作ったりと初期硬度を出すのに約半年近くかかりました。発売して約1年経ちますが、それなりに出荷量があり、自信につながりました。

開発終盤にもトラブルが起きて、ここでも苦労しましたね。確認のため実際に塗装したとき、塗膜前面にへこみができてしまったんです。原因は白に使用した分散剤の相性が悪かったのですが、ほぼ完成と思っていたところでの不具合だったので、正直かなり焦りました。結局改良に2か月かかり、無事に発売に至ったものの、最終確認は大切だなと痛感する出来事でした。



一斗缶や丸缶の天板には混合方法を記載したシールを貼っている。



実際の塗装事例

# TOPICS

## 2023年度 プレミアム会員様 ご紹介

今年度から、年間施工棟数により「ダイヤモンドクラス」と「プラチナクラス」の2つのランクをご用意することとなりました。

皆様のご参加を心よりお待ちしております！

### ◆ ダイヤモンドクラスのお客様 ◆



#### 福島県 武田塗装興業 株式会社 様

この度は2023年度プレミアム会員に認定いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様皆様にご満足いただける様スタッフ一同全力で工事に取り組んでいます。その中でも水谷ペイント様のナノコンポジットWの素晴らしさに惚れ、ご提供させていただいております。

今後もプレミアム会員の名に責任を持ち、より一層お客様に喜んでいただける施工を、スタッフ一同精進して参ります。

#### 東京都 株式会社 BELL WOOD 様

この度は、3期連続でプレミアム会員に認定いただき、誠にありがとうございます。多くの企業様の中から3期連続で認定いただくという大変名誉なことに、従業員一同、嬉しく感じております。

今後も、水谷ペイント様のナノコンポジットシリーズ・ナノテクシリーズの特長を活かし、弊社が得意とする『デザイン性のある仕上がり』にご満足いただけるよう、精進して参ります。



#### 京都府 株式会社 KEIKAN 様

プレミアム会員に認定いただきありがとうございます。

社名(KEIKAN)の通り、当社は全国的に見ても厳しい景観規制を設ける京都を創業の地としており、外壁屋根の塗装にこだわりを持たれるお客様が多い環境で実績を積んで参りました。

顧客様に対して行っている社内アンケートでは、水谷ペイント様の対応や塗料の機能や美観についてコメントでお伝えいただいていることもあり、当社の営業社員のみならず、現場監理、事務員にとっても自信を持って販売、施工、メンテナンス対応ができております。

引き続き、認定をいただけるよう全社一丸となり精進致す所存です。今後とも、よろしく願いいたします。



## 大阪府 明和工業 様

この度、6期連続でプレミアム施工店に選ばれたことに深く感動しております。これまで培ってきた技術やサービスによって、お客様に満足していただけるようさらに努力してまいります。これからも水谷ペイント様との信頼関係を大切に、より良いパートナーシップを築いてまいります。ありがとうございました。



## 兵庫県 有限会社 三共 様

この度は3年連続プレミアム会員に認定していただき誠にありがとうございます。当社は加古川で塗装ひとすじ、創業100年になります。「信頼・技術・安心」をモットーにお客様に寄り添った施工で今後も邁進して参ります。お家の屋根や外壁改修のことなら有限会社三共へ！



## 高知県 株式会社 翔ハウジング 様

この度は2023年度プレミアム会員に認定いただき、誠にありがとうございます。弊社では、水系カスタムシリコンⅡやナノシリコンWを使用することが多く、多くのお客様に喜んで頂いております。今後も、お客様に寄り添い満足いただけるような施工を提供し続けて参ります。



## 広島県 MED Communications西日本 株式会社 広島支店 様

この度は2023年度プレミアム会員に認定いただき、誠にありがとうございます。高品質高耐久性な塗料であるナノコンポジットW・ナノコンポジットFは私共も自信を持ってお客様へプレゼンができ、その後お客様からもとても好評です。本年も多くのお客様へ満足いただけるよう、従業員一同、精進して参ります。



## ● プラチナクラスのお客様 ●

### 岡山県 岡崎塗装店 様

お陰様で創業54年目を迎えることができました。高い技術力と高品質な材料で、お客様に喜んで頂ける仕事をしていきたいと思っております。

プレミアム会員として名に恥じない様、日々我が身を顧みながら努力していく所存です。{縁尋機妙多逢聖因}



# TOPICS

## 2023年度 第1回&第2回 新製品発表会を行いました。

2023年度は、当社イチオシのナノテクシリーズを発売するにあたり、2月と7月の2回新製品発表会を開催しました。

コロナ禍は落ち着いてきましたが、今回もWEBにて開催し、沢山の皆様にご覧いただきました。

次回も皆様の営業活動の参考になるような内容をご提供させていただければと思っていますので、是非ご参加の程、よろしくお願いいたします。

### ◆1回目 2023年2月15日(水)～17日(金) youtubeにて時間限定にて配信

#### 内容

- 1) 耐久性で選べる屋根・外壁用塗料の新シリーズ『ナノテクシリーズ』
- 2) 抗菌・抗ウイルス光触媒コーティング材『AC スプレー』

### ◆2回目 2023年7月19日(水)～21日(金) youtubeにて時間限定にて配信

#### 内容

- 1) 耐久性で選べる屋根・外壁用塗料の新シリーズ『ナノテクシリーズ』
  - ・ナノテクシリーズ物件紹介
  - ・雨筋汚染試験の経過報告



## 第29回「建築・建材展2023」

2月28日(火)～3月3日(金)

於:東京ビッグサイト

新製品のナノテクシリーズを発売に先立ち史上最速でPRしました。

同時にACスプレーも展示しました。

展示会にて初公開となる情報ばかりだったので、多くのお客様に興味をもってご覧いただきました。



## 塗料・塗装設備展

5月17日(水)～5月19日(金)

於:インテックス大阪

今回は子会社のMHL株式会社が主体となり、ナノコンポジットエマルジョンなど自社開発した樹脂製品の防カビ・防藻性能のメカニズムを説明させていただきました。

材料関係をはじめとする幅広い分野のお客様にお立ち寄りいただきました。



## 一斗缶ラベルのデザイン変更のお知らせ

化粧缶廃止(一部除く)に伴い、昨年末から無地ラベルをカタログ表紙に即したデザインに順次変更しております。

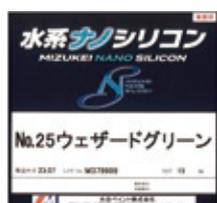
在庫の都合上、変更時期は前後する可能性があります。また、当面は市場に新旧ラベルが混在することが予測されますのでご了承ください。

硬化剤やシンナー等の副資材は変更ありません。

詳しくは、当社営業担当者へお問い合わせください。

<例>

※こちらはあくまで例のため、種類によって変更後の大きさなどは異なります。



旧デザインラベル例



新デザインラベル例



## 塗装実績



水谷ペイントは、用途や目的に応じた、建築用塗料で  
皆様の生活のさまざまなシーンに対応しています。  
弊社の製品を使用した塗装実績の一部を  
ご紹介させていただきます。

### 戸建て住宅(岡山県)

屋根：ルーフピアニ 壁：ナノコンポジットW  
施工：岡崎塗装店 様



### N様邸(千葉県)

屋根：ナノルーフ15遮熱+  
壁：ナノコンポジットW  
施工：株式会社SOU's 様

Before



### 札幌市戸建住宅(北海道)

屋根：PSマイルドSコート  
壁：ナノウォール15



### K様邸(千葉県)

屋根：ナノルーフ20遮熱+  
壁：ナノコンポジットF  
施工：株式会社SOU's 様

Before



### 当麻町戸建住宅(北海道)

屋根：PSマイルドSコート  
壁：ナノウォール15



### オーチャードアレー山手通(兵庫県)

壁：ナノウォール15  
施工：株式会社伊吹塗装 様

Before



### アパート(宮城県)

壁：ナノウォール10



### ヴァローレ(群馬県)

壁：ナノウォール15  
施工：有限会社黒崎塗装 様



### 戸建住宅(京都府)

屋根：快適サーモF  
壁：ナノコンポジットF



### トヨタ車体株式会社いなべ工場(三重県)

床：ポウジンテックス エポワイド



### 日本海情報ビジネス専門学校(鳥取県)

屋根：パワーシリコンマイルドⅡ 壁：ナノコンポジットW 防藻+  
施工：有限会社岩崎塗装店 様



### A様邸(愛知県)

壁：ナノウォール20



### S様邸(鹿児島県)

壁：ナノウォール15  
施工：株式会社市坪塗装 様



### 戸建住宅(京都府)

屋根：快適サーモF  
壁：ナノコンポジットF



### S様邸(鹿児島県)

壁：ナノウォール15  
施工：株式会社市坪塗装 様



# NANO TECH

NANO TECHNOLOGY RADICAL CONTROL RHEOLOGY CONTROL  
SERIES

屋根・壁塗料の新定番  
ナノテクシリーズ

# 好評発売中！

社報 菱みず Vol.88

〈発行日〉2023年8月1日 〈編集人〉経営企画室 山田 和由

〈発行所〉水谷ペイント株式会社 大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151 FAX 06-6393-1101